

YAMANASHI

お正月



新年挨拶

第13回 職員交流ソフトバレーボール大会について

第10回 山梨県介護老人保健施設大会を終えて

部会活動報告

施設訪問記 いちのみやケアセンター



新年挨拶

山梨県老人保健施設協議会

会長 保坂 久

(いちのみやケアセンター施設長)

平成20年の新春にあたり、山梨県老人保健施設協議会のご健勝を心からお喜び申し上げます。また、旧年中協議会に寄せられましたご厚情に対しても心から感謝申し上げます。ご承知のように日本は今、世界でも類を見ない超高齢化社会を迎えております。その中であって、過日の山梨県介護老人保健施設大会にも見られましたように、会員皆様の老人介護に対する純粋で、直向きな情熱、愛情を目の当たりにして、ただただ頭の下がる思いでした。今後ともこの気持ちで迫り来る高齢化社会を乗り切ることが出来ればと思うのは、ただ私だけではないと思います。老健施設が創設され約20年の歴史が刻まれてきました。この間多くの先輩のご努力により現在の介護老人保健施設が定着し、それぞれの責任と努力によってその地位が確立され、老人介護の拠点として貢献して参りました。そしてますます増大する多様なニーズに対応し、介護老人保健施設はその確かな理念により、今や日本の老人介護の中心として揺ぎ無い地位を確保していると言っても過言ではないと思います。私達は今後とも日本の高齢化社会を支える旗手として努力を惜しむものではありません。このことは過日の山梨県介護老人保健施設大会にもしっかりと見ることが出来ます。しかし、昨今、政府が意図する施策の数々は私たち老人介護を担う立場から見て余りにも落胆せざるを得ない多くの問題を投げかけられているような気がします。昨今の介護報酬の減額や利用者の負担増は良好な老人介護の現状を著しく傷つけ、次第に老健施設運営にも経済的に大きな影響を落とす結果となってきています。その大きな原因は国の介護医療政策にあることは明らかであります。現在では老人介護を支える若い人たちの夢も希望も摘み兼ねない極めて深刻な危機が到来すると言っても過言ではないと思います。働き甲斐のある職場、夢のある職場、真に多角評価される職場でなければ真の老人介護は実現できません。今行われようとしている介護療養型病床の老人保健施設への転換も、ただ医療保険崩壊の建て直しのみを考える机上の空論としか言えません。療養病床の受け入れによって、老人保健施設の理念も打ち碎かれ全国23万床の療養病床の再編は療養機能強化型老人保健施設（まだ正式名称は決定していない）として名前を変えただけの従来の介護療養病床の実態となんら変わらない存在でしか無いことは容易に想像されるところです。国の厚生行政の余りにも場当たりの施策に対し強い憤りを感じざるを得ません。今、老人が求める幸せとは、静かな環境の中で、経済的な心配も無く、人間としての尊厳を全うできる環境にそっと置かれることだと思います。決して贅沢で華やかな環境を望むわけでもなく、美食を求めることでもないと思います。人間として尊ばれ評価され感謝される中に静かに人生を終わりたいと思う人が殆どだと思います。私たちは大多数の老人の希望を満たす為に最大限の愛情を注ぐことが出来る環境を作り出す知恵を求め続けなければなりません。国の老人介護福祉政策が正しい方向に向くべきを強く指摘し1日も早く希望に満ちた老健を目指して皆様とともに歩む日を願ってなりません。年頭にあたり会員皆様のご多幸とご健勝をお祈りいたします。

第13回

職員交流ソフトバレーボール大会について

平成19年11月25日（日）、甲府市総合市民会館・山の都アリーナにおいて、「第13回山梨県老人保健施設協議会・職員交流ソフトバレーボール大会」が開催されました。昨年の優勝チームであります甲州ケア・ホームの優勝カップの返還、NAC湯村の力強い選手宣誓を合図に、県内30施設中26施設の参加のもと、コート3面を使用し、白熱した試合と応援合戦が繰り広げられました。毎年この日ばかりは、



普段の日常業務の疲れやストレスなど微塵も感じさせない、又男女も年令も関係ない全く息の合ったチームワークの連続で、目を見張る場面が数多く展開されました。この様な場面を見る度に、恒例のこの大会に向け、忙しい業務にもかかわらず時間を割いて、練習を重ねてきた成果が十二分に発揮されているものと確信いたしました。又試合が終わると、毎年の事ながら双方の



選手が互いの検討を称え合う光景に、本大会の主旨であります「施設間職員の交流」が図られた、意義のある場面ではないかと思われます。成果結果は、昨年の優勝チームと準優勝チームの対戦となり、結果は入れ替わりになりましたが、どのチームも年々レベルが高くなり、どの試合も大接戦が多く、特に峡北シルバーケアホームと玉穂ケアセンターとの試合は、最終的にはチーム全員によるジャンケンにて決まるという次第でありました。最後に、本大会運営にあたりまして、ご尽力いただきました県老健・保坂会長、各施設のキャプテン各位、福利委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。最後まで応援、誠にありがとうございました。

優勝施設にインタビュー

第13回を数えます老健職員交流ソフトバレー大会において、並みいる強豪を破って優勝できた事は本当に喜ばしい事であります。26施設のトップに立つ事はそうやさしい事ではありません。早速、皆でおいしい祝杯をあげて盛り上がらせて頂きました。今年は何のチームも力が拮抗しており、特に準決勝においては、途中まで負けていて形勢が不利で厳しいかなあと思いましたが接戦の末、勝利を手にする事が出来ま

成績結果

優勝	峡南ケアホームいいとみ
準優勝	甲州ケア・ホーム
第3位	つる
	玉穂ケアセンター
敢闘賞	いちのみやケアセンター

が出来ました。決勝は去年と同じ対戦相手になりましたが、今回は準決勝がきつかったので



割に力が抜けてかえって良かったかなあと考えております。来年もまた練習を重ねて連覇に挑みたいと思います。最後に準備に当たって下さいました当番幹事の皆様方、本当にご苦労様でした。26チームを代表致しまして厚く御礼申し上げます。また来年元氣にお会いしましょう。

峡南ケアホームいいとみ 代表 長谷川和彦

第10回 山梨県介護老人保健施設大会を終えて

山梨県老人保健施設協議会理事
研修委員長 臼井 行 夫



介護老人保健施設 鶴舞乃城
看護部長 高口光子先生



平成19年度、第10回山梨県介護老人保健施設大会が秋容の中、昭和町アピオ甲府に於いて開催されました。

県下30施設より役職員260余名のご参加をいただき例年に勝る盛り上がりとなりました。

主催者を代表した保坂久山梨県老人保健施設協議会々長のあいさつに続き、来賓の山梨県福祉保健部次長鶴田建次様のごあいさつをいただきました。

鶴田次長は本県の老人福祉の現況と介護保険制度に基づく今後の取り組みについて詳細なご説明を下さり、更に介護保険制度の一端を担う老健施設職員の活躍を期待致す旨エールもいただきました。

大会は二部構成で講演と演題発表と続きました。

「介護ストレスについて」と題した講演は、テレビ、著書等でお馴染みな高口光子先生により、介護者の姿勢とメンタル面の重要性を説かれ更に、

- ・「身体拘束禁止」に対する意識づけと責任の所在
- ・プロ意識の基本をつくるために
- ・大切な人を大切にするケア

とする三つのテーマを掲げ、より具体的な説明もいただき、職員のストレスを押さえることこそより高い介護サービスにつながるとの結論で講演を締めくくられました。

午後からの演題発表は、24題の研究成果の発表がありいずれも甲乙つけたがい内容であり、又今回の特色はユニークな演題も多かったことです。



左から小池君枝さん、金井佐知さん、滝沢亮介さん、沢登岳さん

今年も優秀演題四題を表彰いたしました参加職員の投票という選出方法で決定されたことは非常に好評でありました。

本大会を通し、各施設及び職員が日頃悩みあるいは出口の見えない問題も多くかかえる中いくつかのヒントは得られたことと思います。そして、ここを契機に療養型病床の老健化をはじめとする諸問題山積の中、役職員一丸で精進を重ねつつ老健の理念に邁進し、今後の発展につなげていければ幸いではないでしょうか。

終わりに、本大会開催に大変ご努力いただいた研修委員の皆様と各施設の関係者に心より御礼を申し上げあいさつと致します。

演題の一覧

セクション1

座長 NAC湯村 介護支援専門員 堀内 貴弘

- § 胃瘻栄養から経口摂取へのアプローチ
ノイエス 介護職員 和田 朱美
- § 個浴露天風呂への取り組み
～えっ!? テラスに個浴!? 私達も入りたい～
甲府相川ケアセンター 介護福祉士 菅沼盛太郎
接遇美人
～ロールプレイングから学ぶ接遇意識の変化～
峡南ケアホームいいとみ 介護福祉士 沢登 岳
- § 高齢者の整容管理とQOL
～美顔管理活動による活動性向上の可能性～
ケアホーム花菱 理学療法士 豊野 加奈
- § レク活動から生まれる生きる喜び
～レク活動を通じて得られた職員及び利用者の変化～
山梨ライフケア・ホーム 介護職員 小澤 槇子
- § ミュージックケアを取り入れて
～笑顔こそ生きる活力～
ナーシングプラザ三珠 介護福祉士 丹沢 恵子

セクション2

座長 峡南ケアホームいいとみ 支援相談員
秋山 靖

- § 当施設で在宅復帰が増えてきた中での一症例
～新しい改正のもと、老人保健施設の役割が
変わる中で、その役割を果たした一症例～
甲府南ライフケアセンター 介護福祉士 篠崎 弘祐
- § 高齢者への排尿のアプローチについて
～男性の心理を迫り～
恵信ケアセンター 介護職員 萩原加奈子
家族主体の家族連絡会
～皆さんの声を聞かせて下さい!～
はまなす 作業療法士 金井 佐知
- § センサーマットの導入
～素早い対応を～
ケアセンターいちかわ 介護福祉士 伊藤 ヨカ
- § 下肢浮腫に対する足浴とマッサージの効果
～楽になるね～
サンビューかじかざわ 介護職員 長田 京子
- § フルートの音色を入所者へ
～演奏を通して入所者に楽しみ安らぎを～
峡西老人保健センター 介護福祉士 飯野ゆう子

セクション3

座長 甲州ケア・ホーム 理学療法士 佐藤 聡

- 老健大会の本当の意義
～いろいろまねしてみました～
かわせみ苑 介護職員 滝沢 亮介
- § レクリエーションの取り組みと経過
～「今日は何? 楽しみ!」～
あさひホーム 介護職員 小池 一夫
- § エッ!うちの施設がノロウイルス?
～意識の低下が招いた結果～
峡北シルバーケアホーム 介護職員 小松 一樹
- § 排泄の自立を目指して
～無香空間、きれいな空気を感じたい～
フルリール むかわ 介護福祉士 石原 輝章
- § 既存施設におけるユニットケアの取り組み
～個々と関わるケアを実施して～
つる 介護福祉士 庄司希美子
- § 胃瘻栄養者に対する経口からのアプローチ
恵信ケアセンター 看護師 高部まり子

セクション4

座長 恵信ケアセンター 介護福祉士 矢野 直生

- § リハビリテーション実施計画書への取り組み
～どう作成しどのように活用して行けるのか?～
ふじ苑 理学療法士 深沢千恵美
- § 外泊行事での家族交流
～温泉に入りながら悩みを語ろう～
はまなす 介護職員 武藤 哲治
- § 身体拘束0を目指して
～拘束しない介護へ～
いちのみやケアセンター 介護職員 山中みゆき
- § エコ老人(エコロジー)
～環境にも人にも優しい施設をめざして～
ももくら 介護職員 鈴木 裕美
- § 業務改善による認知症ケアの向上への取り組み
甲州ケア・ホーム 介護福祉士 山田あかね
食生活を楽しもう
～食べることの喜び楽しみを考える～
NAC湯村 管理栄養士 小池 君枝

部 会 活 動 報 告

リハビリテーション部会

第1回 リハビリテーション部会の開催

日 時：平成19年9月21日(金) 15:00～17:00

場 所：甲州ケア・ホーム

活動内容：「くもん学習療法の紹介」

平成18年度活動報告・会計報告

平成19年度活動計画・予算案について

平成19年度役員紹介

次回部会のテーマについて

情報交換

第1回部会は、30施設35名の出席がありました。くもん学習療法に興味を持たれたリハビリスタッフ以外の参加もありました。

次回の部会では、老人保健施設におけるリハビリの効果判定について、情報交換を行う予定です。年3回の部会開催を予定していますが、老人保健施設におけるリハビリテーションサービスの向上に寄与できるよう、有意義な会としていきたいと思っております。

部会長 佐藤 聡

通所リハビリ部会

第1回 通所リハビリ部会の開催

日 時：平成19年7月18日(水) 18:00～20:00

場 所：介護老人保健施設 ふじ苑

活動内容：トランスファーについて 講義、実技

平成19年度新役員紹介

平成19年度事業計画について

第2回

日 時：平成19年11月20日(火) 18:00～20:00

場 所：介護老人保健施設 ふじ苑

活動内容：講義・実技 テーマ「食事」

～口腔周辺機能の知識と誤嚥、むせなどへの具体的な対策～

講 師：笛吹中央病院 言語聴覚士

小菅久美子先生

今年度の通所リハビリ部会では、介助や介護の中でも利用者様の能力の維持や改善を目指した通所リハビリサービスを提供することができないか、と考えリハビリテーションの視点に立った、介助や関わりを学ぶ機会を設けています。

知識だけでなく、実技体験を通して勉強することで、実際の現場に部会活動が反映されることを期待し、また、利用者様に満足いただけるサービスを提供するために何が出来るかを考えてまいりたいと思っております。

部会長 山田 稔

事務長部会

第1回 事務長部会の開催

日 時：平成19年8月23日(木) 14:30～16:00

場 所：笛吹市スコレーセンター

活動内容：平成19年度支部事務担当者会報告

平成19年度実地指導について

参加者：28施設32名

事務長部会では、毎回各施設が抱える問題について、協議を行っております。第1回の部会では、今年度より改正されました実地指導の形態に基づく実際の指導事例等の報告があり、今後予定される実地指導の対応策について、具体的な検討が行われました。

部会長 網倉 健也

介護支援専門員部会

第1回 介護支援専門員部会の開催

日 時：平成19年6月20日(水) 14:00～17:00

場 所：山梨県立青少年センター

活動内容：講演「緩和ケア・ターミナルケアについて」

講 師：山梨県立大学 人間福祉学部

福祉コミュニティ学科教授

小野 興子先生

- ・平成18年度介護支援専門員部会事業、会計報告
- ・平成19年度介護支援専門員部会事業計画、予算(案)について

第2回

日 時：平成19年10月17日(水) 14:00～17:00

場 所：山梨県立青少年センター

活動内容：講演「認知症高齢者のケア」

講 師：峡西病院 看護部長 古屋昌美先生

「施設同士の連携」をモットーに、今年度上記内容で2回の部会を開催しております。

どちらの講演テーマも私たち施設ケアマネにとってはとても興味深い内容で、講師の先生への質問や意見交換も活発に行われ、とても有意義な部会だったと思います。

今後も部会を通して日頃の業務の悩みやノウハウを共有し、県内30施設2,790名全ての入所者の暮らしをより良くする援助者として、個別性の高いケアマネジメントが展開できるよう一段と連携を深めていければと思います。

部会長 堀内 貴弘

部 会 活 動 報 告

看護部会

第1回 看護・介護部会の開催

日 時：平成19年9月12日(水) 14:00～16:30
場 所：山梨県立青少年センター 2階多目的ホール
活動内容：講義 「失語症者との上手な関わり方」
講師 言語聴覚士 平澤 哲哉先生

今回は介護部会との合同研修会でした。30施設の内、26施設56名の参加がありました。失語症の方々への「コミュニケーションを進めるための対応」・「具体的なポイント」等を受講後、3人1組のロールプレイ形式で役割を交代しながら研修いたしました。参加者からも熱意ある言葉が聞かれ、とても有意義な研修会だったと思います。

部会長 宿澤 祥子



介護部会

第1回 介護部会の開催

日 時：平成19年6月27日(水) 14:00～16:30
場 所：介護老人保健施設 大津ケアセンター
活動内容：平成18年度介護部会活動報告、会計報告
平成19年度介護部会活動計画、予算計画について
グループ別施設見学
グループワーク 各施設より提出された課題について

参加人数：27施設45名

第1回 看護・介護合同研修会の開催

日 時：平成19年9月12日(水) 14:00～16:30
場 所：山梨県立青少年センター 2階多目的ホール
活動内容：講義 「失語症者との上手な関わり方」
講師 言語聴覚士 平澤 哲哉先生

参加人数：26施設56名

年3回の部会と限られた時間なので施設間での情報交換や、講義など有意義な時間を過ごせる部会にしていきたいと思っています。

部会長 矢野 直生

栄養士部会

第2回 栄養士部会の開催

日 時：平成19年9月12日(水) 14:00～17:30
場 所：リバース和戸
活動内容：「摂食嚥下・嚥下障害について」

講師 ノルバティスニュートリション
佐藤 仁美先生

栄養ケアマネジメントにおける疑問点等についてのグループ討論

第2回到講師を依頼し、摂食嚥下・嚥下障害についての研修を行いました。飲食物を使用して、どのように口腔内で嚥下されるのかを体感し、摂食機能について良く理解できました。また、誤嚥等の嚥下障害の起る仕組みについても、理解を深めることができたと思います。グループ討論では講師の方を交えて、実際に栄養ケアマネジメントを進めている中で、疑問に感じていること等について話し合いました。色々な質問、意見が飛び交い、活発に意見・情報交換することができました。今回の研修を通して学んだことを、今後の業務に活かしていきたいと思っています。

部会長 塚原あゆみ

支援相談員部会

第2回 支援相談員部会

日 時：平成19年8月21日(火) 14:00～17:00
場 所：優和福祉専門学校

今年度は新入相談員・新規施設など支援相談員の入れ替わりもはげしく、原点に戻る意味で「利用判定会議」についてグループワークを実施しました。それぞれの施設の違いを把握でき有意義な部会だったと思います。終了後には、近隣の介護老人福祉施設「ゆめみどり」の見学を実施し、最新の施設を見学することで、支援相談員としての知識を深めました。

第3回は第2回到引き続き原点に戻る意味で、「支援相談員としての接遇」について開催予定です。また、第

4回はMSWとの合同部会も予定しています。施設内のことから他機関との連携まで、支援相談員としてのスキルアップがはかれればと思っています。

部会長 秋山 靖



施設訪問記

いちのみやケアセンター

(訪問者 しおかわ福寿の里)



雲ひとつない秋晴れの中、いちのみやケアセンターを訪問させていただきました。県中西部笛吹市の国道20号より少し入ったところに位置し、国道沿いにはショッピングセンター、施設は葡萄畑・桃畑に囲まれ、職員の方も笑顔で挨拶をしていただき、施設の外も中も和やかな雰囲気でした。本日は、保坂理事長・三井事務長・看護師長にお話を伺いました。

施設の特徴

平成6年に建てられたとは思えないほどのきれいな施設の3階の窓からは、南に富士山、西にアルプスが見える環境の中、『のどかな自然の中 私たちの あたかさと やさしさで 生きる よろこびのお手伝い』を基本理念に、利用者一人一人にあったサービスを提供されているとのことでした。

レクリエーション



葡萄畑・桃畑に囲まれた環境をいかして他の施設ではできない独特なレクリエーションを行っているそうです。訪問させていただいた日も文化祭当日で玄関には利用者の方とボランティアの方が活かされたきれいな花が飾っており、他にも手芸や書道などの作品

がたくさん飾られていました。季節の行事としては運動会や敬老会はもちろん、春には施設駐車場で、桃の花に囲まれてお花見会を盛大に行い、秋には2週間くらい、毎日7名~8名を職員が1対1で周りを散歩してから、隣の葡萄畑で葡萄狩りを楽しみます。そのときの写真を見せていただきましたが、利用者さんのとても楽しそうで生き生きとしたお顔が印象的でした。



今後の目標・取り組み

介護保険制度が始まり、7年が過ぎようとし、制度改正も行われ、理想のケアが難しくなっているなか、看護師長さんの「利用者様の目線でものを見る」というお言葉からもわかるように、利用者様一人一人の尊厳を尊重し、認知症対応の施設ではないけれども、認知症の利用者様にも、その方にあった個別ケアを行い、人間らしく生活していただき、介護老人保健施設の目的である在宅への復帰を支援していくという施設の意気込みが伝わってきました。

シリーズ さくひん



『生け花』(いちのみやケアセンター)

当センターでは毎年11月1日~11月15日まで文化祭を開催しています。

その中のひとつとして、今年もロビーに「生け花」を展示しました。この写真は、ボランティアで来ていただいている「生け花」の先生と一緒に、入所者の方が一生懸命に生けた作品です。

施設の概要

入所定員	100名
通所定員	17人
協力病院	笛吹中央病院、一宮温泉病院
協力歯科	中川歯科医院
所在地	〒405-0076 笛吹市一宮町竹原田1255-1
電話番号	TEL 0553-47-4811 FAX 0553-47-4815
設置運営主体	医療法人 芙蓉会

編集後記

新年明けましておめでとうございます。「ろうけん」を無事に発行でき、広報委員会の役割を果たせたことに胸をなでしております。療養型病床を老人保健施設のベッドに転換しようとする政策は、医療保険から介護保険へのシフトを意味し、今後の介護老人保健施設への締め付けを示唆するものであることから、より厳しい状況が予想されますが、高齢化社会を支えているのは、自分たちであるという自負を持ってがんばっていきましょう。介護老人保健施設しおかわ福寿の里は、北杜市立塩川病院に併設であるため、施設長は病院長が兼任しておりますので、昨年中不慣れな点も多く、広報委員会の皆様、協議会の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

広報委員長 都 倉 昭 彦
(しおかわ福寿の里)

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会
広報委員会

事務局 〒405-0076
山梨県笛吹市一宮町竹原田1255-1
いちのみやケアセンター内
TEL.0553-47-4811
FAX.0553-47-4815

ホームページ:
<http://www.y-rouken.jp>
Eメール:rouken@tiara.ocn.ne.jp

印刷 株式会社 少国民社